

<先進的な国際都市の例>

環境

コペンハーゲン (デンマーク)

人口：52.8 万人(都市圏:118 万人)
面積：88 km²
一人当たり GDP：80,341 ドル
国際線直行便就航都市数：91 都市
《特徴》環境、経済。環境都市として知られ、2015 年までに 50%の通勤・通学者が自転車を利用するようになることを目指している。物価は高い。デンマークの人口は北海道とほぼ同じ。酪農、デザインが有名。

芸術・文化

ウィーン (オーストリア)

人口：169.9 万人(都市圏:171 万人)
面積：415 km²
一人当たり GDP：59,263 ドル
国際線直行便就航都市数：125 都市
《特徴》文化・交流、居住環境。街自体が世界遺産で、音楽の都としての地位を築いている。国際機関が集積し、国際会議が多く開催される。また、安全性において評価が高い。

居住環境

バンクーバー (カナダ)

人口：62.9 万人(都市圏:203 万人)
面積：115 km²
一人当たり GDP：36,752 ドル
国際線直行便就航都市数：34 都市
《特徴》移民文化、居住環境。バンクーバー港を中心に産業が発達。近年は居住環境の良さと、カナダの柔軟な移民政策により高度人材が集まることが強みとされている。バンクーバー移住者の 2/3 がアジアからの移民。



学術

ボストン (アメリカ)

人口：60.9 万人(都市圏:482 万人)
面積：125 km²
一人当たり GDP：66,239 ドル
国際線直行便就航都市数：28 都市
《特徴》学術、研究・開発。100 を超える大学があり、大学自体が大きな雇用を生むだけでなく、金融、工学などのハイテク産業を呼び寄せる効果も生んでいる。

ファッション

ミラノ (イタリア)

人口：130.7 万人(都市圏:436 万人)
面積：182 km²
一人当たり GDP：52,420 ドル
国際線直行便就航都市数：129 都市
《特徴》文化、居住。服飾・繊維産業が盛んな土地柄で、1980 年代以降、ミラノコレクションを中心にファッション都市の地位を確立。イタリア最大の経済地域。

観光

オークランド (ニュージーランド)

人口：40.1 万人(都市圏:128 万人)
面積：637 km² 一人当たり GDP (実質)：28,572 ドル
国際線直行便就航都市数：23 都市
《特徴》観光、移民文化。ニュージーランドの人口の約 1/4 が居住しており、自然豊かかつ整備された都市環境が特徴。多くの観光客が訪れる。

※主なデータは「世界の都市総合カランキング」(財団法人森記念財団)を参照した。その他、都市圏人口については「Demographia World Urban Areas 7th Annual Edition April 2011」(WENDELL COX CONSULTANCY)、オークランドについてはオークランド市公式ホームページ、オークランド国際空港ホームページを参照した。

<住みやすさに着目した都市ランキング>

いずれも、政府機関や企業が海外都市で従事する職員への手当・費用弁償等を算出するためのランキング。

「住みやすい街ランキング」(英エコノミスト誌・インテリジエンスユニット 2011 年 8 月概要版)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1)メルボルン(オーストラリア) | 6)シドニー(オーストラリア) |
| 2)ウィーン(オーストリア) | 7)ヘルシンキ(フィンランド) |
| 3)バンクーバー(カナダ) | 8)パース(オーストラリア) |
| 4)トロント(カナダ) | 9)アデレード(オーストラリア) |
| 5)カルガリー(カナダ) | 10)オークランド(ニュージーランド) |

-安定性、医療・健康、文化・環境、教育、公的インフラの5分野 30 項目について分析・評価。140 都市対象。

<分析>高い得点の都市の傾向としては、先進国にある中規模の都市で、比較的人口密度が低い。この特徴から、犯罪率が高くなったり、インフラに過度に負担が生じたりすることなく、余暇活動の幅を広げることができる。また、上位 10 位のうち 7 都市はオーストラリアとカナダの都市で、各国の人口密度は 2.88 及び 3.40 人/km²である。さらにその他の国のうち、フィンランドとニュージーランドで 16 人/km²であった。日本の都市は、大阪が 12 位、東京が 18 位にランク入りしている。

「世界生活環境調査都市ランキング」(英マーサー・ヒューマン・コンサルティング 2011 年 11 月マーサーHP)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1)ウィーン(オーストリア) | 7)フランクフルト(ドイツ) |
| 2)チューリッヒ(スイス) | 8)ジュネーブ(スイス) |
| 3)オークランド(ニュージーランド) | 9)ベルン(スイス) |
| 4)ミュンヘン(ドイツ) | 9)コペンハーゲン(デンマーク) |
| 5)デュッセルドルフ(ドイツ) | |
| 5)バンクーバー(カナダ) | |

-政治社会環境、経済状況、社会文化環境、健康・衛生環境、教育、公的サービス、レクリエーション、消費財、住居、自然環境の 10 分野 39 項目について分析・評価。221 都市対象。

<分析>ヨーロッパの都市が上位 25 位の内半分以上を占める。高い評価を受けているのは、生活上の基本的な要素が整っている都市である。なお、同時に安全性のみのランキングにおいて、日本は高評価を得ており、神戸、名古屋、大阪、東京、横浜がランク入りしている。